



山崎 正春 議員

市の危機管理体制について

質問 「災害は忘れた頃にやってくる」と言われるが、本市においても昭和41年の「7・17水害」昭和42年の「8・28水害」と2年連続の大水害、いわゆる「羽越水害」と、平成7年4月1日の震度6強の大地震「新潟県北部地震」に襲われ、大きな大きな被害を受けた事は記憶に新しい出来事である。本市の災害発生時での市民の

「飲料水」の確保は水原小学校にある「循環型の飲料水兼防火水槽の耐震型貯水槽60トン型」1個所しかない。
これは2ℓのペットボトル3万本しかなく、約47,000人の市民に対して緊急時の飲料水の確保対策はどうするのか。

答弁 今回水原中学校の耐震化工事での全面改築に当り、約47,000人の市民が一時的にしのげる飲料水の確保対策を早急に実施すべきと思うが、市長の考えを伺う。

答弁 水原中学校改築基本構想の中には、公共機能の観点から災害時での指定避難場所として、防災、災害対策にも配慮した学校づくりを目指している。

現時点では基本構想の中には「飲料水兼耐震型貯水槽」の計画はないが、ご指摘のように災害時での飲料水を確保する上で有効に



改築予定の水原中学校

活用できることから、今後基本設計の策定時に、防災、災害対策に更なる強化の観点から、ご指摘の「耐震型貯水槽」の設置について検討していく。



遠藤 智子 議員

共同生活援助グループホームの進捗状況について

質問 昨年の6月議会で、21年中の実現も考えられるとのことでした。現在の状況について。

答弁 設置場所の選定等で遅れている。障がいのある方が地域で共同生活を営めるように、市内外の社会福祉法人との連携、設置場所の再検討、地域住民の理解を得るための働きかけ等を行い、今後グループホームの設置に向けて

努力したい。

橋梁長寿命化、修繕計画策定について

質問 市管理の橋梁490橋の大多数が架梁後、数十年が経過し安全性が危惧されている。今後の推進計画について。

答弁 平成21年度～24年度までに点検調査終了。23年度から調査終了の橋から修繕計画を策定。25年度で全ての橋梁修繕計画策定を終了する予定であり、調査結果は市ホームページで公表している。費用は国から1/2補助を見込んでいる。

再質問 調査終了の橋で緊急対応の必要な橋と架替、修繕に係る費用の国の補助金について。

答弁 終了済みの橋で緊急対応の必要な橋は8橋梁で工事費用は、国より1/2が見込まれる。
再質問 橋梁の修繕、架替工事



は高額費用が見込まれ、長期計画策定が不可欠である。これから策定に入る阿賀野市総合計画・後期基本計画の中に橋梁長寿命化、修繕計画を主要事業として明記し事業の推進を図るべきと考えるが。

答弁 調査結果をふまえ、橋梁長寿命化、修繕計画を策定し総合計画に明記し事業の推進を図りたい。

要望 自治会内に架かる橋で暗い橋があるが、自治会負担での道路照明灯の整備は負担が大きすぎる。修繕計画策定の中で道路照明灯の新設について考慮してほしい。

答弁 新たな道路照明灯の整備については、自治会要望で対応を考えている。



宮脇 雅夫 議員

合併の評価について

質問 4カ町村の合併で阿賀野市が誕生してから6年余が経過した。また、合併特例法が今年の3月末期限で一区切りとなり、「平成の大合併」が一段落した。阿賀野市の合併の評価をおこなう必要があるのではないかと。今年度中に予定している市総合計画・後期基本計画策定にあたり、合併してから6年間の成果を検証し、それぞれの施策を抜本的に見

直したうえで計画策定をする。
質問 現時点での、合併に対する市長の見解について。

答弁 合併時には予想しなかった「三位一体改革」などの影響により、財政危機を迎えているが、このような難局は旧4町村の体制のままでは、おそらく対処できなかったと考えている。

また、今後も更なる厳しい財政状況が予想されるので、合併当初の「サービスは高く、負担は低く」の継続は極めて厳しい状況となっている。しかし、この合併によって、市民全体がまちの現状を認識し、将来の市の姿を考える機会となり、市全体にまちづくりの意識の高まりをもたらしたと考えている。

質問 市町村合併には「光と影」の面があるといわれているが、「影」の部分の評価とならんらかの対策が必要でないか。

答弁 合併の弊害として、周辺

部が衰退する、旧町村の特色がなくなる等が懸念されていたが、均衡のとれた発展をめざして、各地区で遅れていた都市基盤や生活環境などの整備を集中的に進めてきたことにより、周辺部の衰退は生じていない。

旧町村の特色も、交流圏の広がりで他地区を知り、自分たちの地区の良さを再認識し、それを守って行くという機運が盛り上がってきたと考えている。

しかし、行政が気付かない点もあると思われるので、今後地域審議会など組織を挙げて情報収集を行っていきたい。

◆その他の質問◆ 郷病院について

害時の避難所」を柱にしている。特に「図書室」については、老朽化している水原図書館の代替機能も併せ持つ図書室を考えている。

答弁 滞納者の返還（資格証の発行）について、3月の参議院予算委員会で「払えるのに払わないことが本場に証明できた以外は、慎重に取り扱っていただきたい」と厚生労働大臣が答弁している。市の対応について伺う。

答弁 督促状発行者のうち来所相談で分割納付の誓約書等が246名となっている。資格証の発行にあたっては、払いたくても払えないなどの特別な事情であれば、分割相談などに応じるなど慎重に対応していきたい。



◆その他の質問◆ 国民健康保険税滞納者の対応について

質問 滞納者に対する対応を伺う。

滞納者の資格証発行数90件
平成18年5月現在41件
平成22年5月現在41件

◆その他の質問◆
市の公園、広場の遊具の総点検を行い、腐食や劣化、部品欠落などの修理をすすめることを質問した。